

災害に備えるトイレ編



▲令和元年の台風19号で増水した荒川の様子（糠田橋付近）

7月から10月は、台風の接近や集中豪雨など水害のリスクが高い時期です。

また、令和6年能登半島地震では、家屋の倒壊、大規模な火災の発生、道路の寸断、長期間にわたる断水など甚大な被害が発生しました。災害はいつ発生するかわかりません。普段からの備えが大切です。

家庭の備えで忘れがちなのが、災害時のトイレ対策。水害等で浸水が発生すると、下水道や浄化槽、排水管が満水になり、トイレを流すことができないおそれがあります。

令和6年能登半島地震でも、断水などにより、長期間トイレが使用できない状況が発生しています。

食料・水だけではなく
トイレの準備も大切です

問合せ 危機管理課（内線2213）

避難所のトイレ対策

鴻巣市では、災害時に通常のトイレが使えない場合に備えて、公共下水道処理区域の指定避難所（市内小学校）を中心に、マンホールトイレを整備しています。

また、組立て式の貯留型の仮設トイレや、自動ラッピング式トイレの備蓄もしています。



▲自動ラッピング式トイレ



▲マンホールトイレ



家庭でも携帯トイレを 備蓄しましょう

さまざまなタイプの簡易トイレが販売されていますが、「携帯トイレ」は、災害時に水が出ない、水が流せない場合でも、トイレ空間が安全で、便器が利用できる状態であれば、トイレに取り付けて使用することができます。

また、「携帯トイレ」は、他の簡易トイレに比べ、比較的安価(1回あたり数十円から数百円程度)で購入することができ、災害時に限らず、車のドライブ中に渋滞に巻き込まれた時など、日常でも活用できます。

トイレの備蓄に加えて、良好な衛生環境を保つためにもトイレトーパーやウェットティッシュ、消毒液といった備品も準備しておきましょう。

災害時にトイレを我慢すると、健康に支障をきたすおそれがあります。食料・水といった「体に入れる備え」だけではなく、「体から出す備え」についても考えておくことが大切です。

備えておくべき トイレの必要数

(4人家族の場合)

1人 1日5回
(大便1回、小便4回)
×
4人 ×
1週間
= 140回分

携帯トイレの使い方

使用後はごみの収集まで、ほかの可燃ごみとは分けて、
においが漏れないようなるべく密閉できる容器で保管し
ます



3 用を足した後、携帯トイレのみ取り出し、空気を抜いて口をしぼる



1 便器にポリ袋をかぶせる
※トイレの床や手が汚れにくくなる



4 密閉できる容器で保管



2 その上に携帯トイレ(黒い袋)を設置し、便座を下ろす

令和6年能登半島地震 派遣職員に聞く

危機管理課 清水主任

3月4日から11日までの間、石川県七尾市の避難所で応援職員として活動しました。

活動中、避難者の方から「飲食については、市の備蓄品や支援助物資、避難者同士で食材を持ち寄り、炊き出しを行うなど、なんとかあった。しかし、トイレは上下水道が被災し、排水できず、不衛生な状態が続き、大変苦労した。土を掘ってそこに用を足した避難先もある。」といった話を伺いました。

市でも災害用トイレの備蓄を進めておりますが、各家庭でも携帯トイレ等を準備していただき、いざという時に備えていただければと思います。



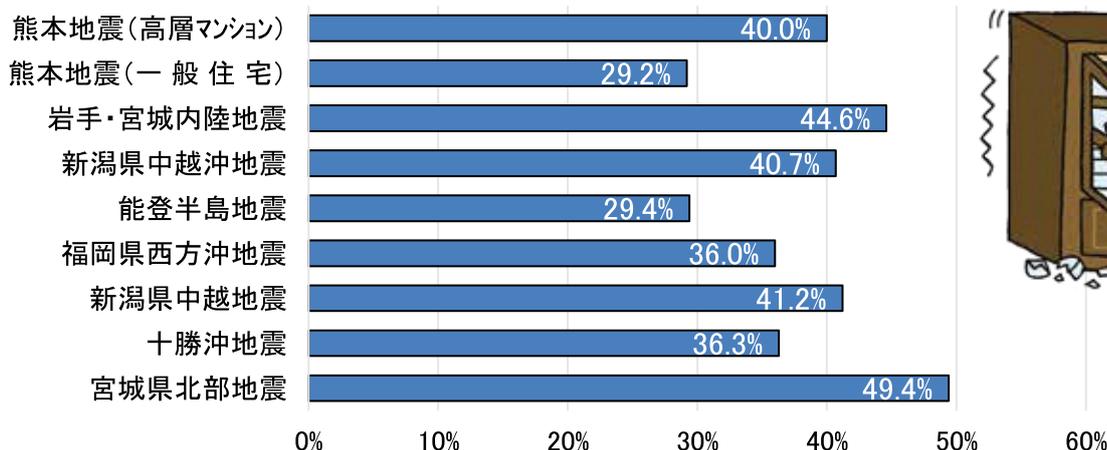
▲避難所のトイレの様子

災害に備える ～家具類の転倒防止対策編～

いつ発生するかわからない地震。皆様のご家庭での対策はできていますか。対策が不十分だと、家具類の転倒や落下が原因で負傷したり、部屋に閉じ込められてしまう可能性があります。

令和6年能登半島地震をはじめとした近年の地震でも、家具類の転倒等による被害が多数発生しました。家具類の転倒防止対策をして、被害を未然に防ぎましょう。

近年発生した地震における家具類の転倒・落下・移動が原因のけが人の割合



東京消防庁 家具類の転倒・落下・移動防止対策ハンドブックより



① ケガ

近年発生した地震におけるケガの原因の約30～50%が、家具類の転倒・落下・移動によるものです。

② 火災

転倒・落下した家具類が電気ストーブなどの電源スイッチを押し、付近の燃えやすいものに着火するなどして火災が発生することがあります。

③ 避難障害

避難通路や出入口付近に転倒・移動しやすい家具類を置くと、避難通路をふさぎ、避難の妨げになるおそれがあります。

➡ 家具類の**転倒・落下・移動**の防止対策が**重要!**



対策のポイント

家具の配置を工夫する

✕ 出入口をふさいでしまう



出入口を塞がないよう家具の向きを変える

✕ 就寝場所に倒れてくる



就寝場所に家具が倒れてこないように家具を配置する

家具転倒防止器具を使って対策する



ストッパー式



マット式



ポール式



ベルト式



L型金具

小

器具の効果

大

知っていますか？ 鴻巣市災害ポータルサイト

災害ポータルサイトでは、災害時に必要となる避難情報、避難所の開設状況、防災行政無線の放送履歴、気象情報や河川の水位に関することなどを集約して発信します。

災害リスクや防災対策についても発信しているため、スマートフォンやパソコンでお気に入り登録をして、いつでも確認できるようにしておきましょう。



▲災害ポータルサイト（市HP）

補助金を利用して転倒防止対策！

対象者：市内在住の方

補助内容：市内の販売店で家具転倒防止器具等を購入又は市内業者による取付を行った世帯に対して補助金を交付（購入・取付に合計4,000円以上要したもの）

対象器具：家具やテレビ等の転倒防止器具・金具、ガラスの飛散防止フィルム、感震ブレーカーなど
※扉の開閉を防止する器具や食器棚内に敷くすべり止めマット、本などの落下を防止する器具なども対象

補助金額：購入費・取付費の2分の1の額（上限5,000円）

申請方法：電子申請又は危機管理課窓口

問合せ：危機管理課（内線2213）

※補助金額が予算額に達した場合には、受付を終了します。



▲詳細は市HP

